



星薬科大学

“世界に奉仕する人材育成の揺籃”

－ 教育目的・目標 －

上記の建学の精神に基づき、薬学を総合的に学ぶとともに、人間教育にも力を入れており、高い倫理観を持つ薬のエキスパートの育成を目指しています。
このため、調剤等に必要幅広い知識を学び、さらにチーム医療の一員として、高度・多様化する医療現場において活躍できるように、幅広く高度な専門的スキルをもった人材の養成を行っています。

《 4年次前期 実務実習事前実習 》



実習初日に、学生自らが事前学習の意義を明確に認識し、高いモチベーションで実習に取り組むことを目的として、KJ法の一部を取り入れたスモールグループディスカッションを実施しています。



本学独自の態度教育プログラムを構築し、社会人・医療人としての態度教育に力を入れています。



本学では、最先端のフィジカルアセスメントモデル（3体）を導入し、症例ごとに病態生理学、薬理学、薬物治療学及び薬物動態学等の関連付けを行い、薬剤師として不可欠である基本的な臨床能力の修得に力を入れています。



模擬院内教室（糖尿病、喘息・COPD、腎臓病）や様々なケースでの服薬指導を経験させることで、型にはまらない柔軟な患者対応力の修得に努めています。

《 4年次後期 実務実習事前実習 》



前期実習内容を基礎として、臨床現場で求められる知識・技能・態度の修得のため、実務家教員（8名）をはじめ、標準模擬患者や現役の病院・薬局薬剤師の協力も得て、特色を持った臨場感のある実習を行っています。学生個々で得手不得手の領域があり、能力に合わせて、きめ細やかな対応をしています。